

社協だより あさご

朝来市社協

検索 

地域ミニデイに行商に来てもらった。
「買い物」の今。



地域ミニデイの活用術：朝来・立野ミニデイ「ひなた」の取り組み

特集／地域の「食の確保」を考える



地域での「食の確保」を考える



近年、市内のスーパーや食料品店、移動販売等の閉店や廃業に伴い、身近な場所で購入物をすることが出来ずお困りの方が多くおられます。「食の確保」が地域課題として見受けられ、広報63号では「過疎地域での食の確保」について取り上げました。今回の特集は過疎地域はもちろんのこと市内での「食の確保」について改めて考えます。

明日から車に乗れなくなった

市内在住の80代のAさんご夫婦の場合

夫：要介護1認知症 7年前に免許証返納 妻：昨年、交通事故を起されたことにより今年4月に免許証を自主返納

「今年の4月に免許証を返しました。昨年、事故を起してから車を処分し、処分後、この日がききました。事故があったから踏ん切りがついたけど、普通やったら、なかなか手放されへんやろな」とし

みじみ話されていたのが印象的でした。

□Aさんご夫婦の「食」の現状

ご主人の介護と併せ、市内にお住まいの娘さんが、ご自身の仕事を辞められました。お世話ついでに買い物や訪問をされています。「月2回、淡路の行商が地域の集いの場に来られる。生鮮食品などは、鮮度



のいいものが欲しいのでスーパーなどで買ってきてもらったり、連れて行ってもらっています。またコプのこはい(週1回)や近隣の方にもお世話になり買い物をお願いする時もあるし、近隣からのお裾分けや採れた野菜を頂きながら生活しています。」

□お世話になる側・される側の実際「お互いに気を遣わないようにしたいが…。」

親のために仕事を辞めた娘は、その分、生活費を渡しています。近隣の方には、お世話になったら何かお返しをしなければと思いい、気持ちだけお返ししています。自分自身が車に乗っている時は「いつでも言うてよ。気を遣わんでええから。何もいらんで」と

買い物に連れ添ったりしていました。が、乗らなくなると今では「乗せる側」「乗せてもらう側」「双方の気持ちがよくわかります。お返しなどを考えると

少し料金がかかるけどタクシーで行った方が気を遣わないかもと話される方や、相互に気を遣わないようにキロいくらというように価格設定し買い物に行かれる場合もあるそうです。

□今の思い

「月2回、淡路の行商が地域の集いの場に来られるが、移動販売などが月にもう2回程来られたら、自分自身を含め高齢者の方、便利になるし、近くにコンビニなんかあればいいと思う。昔のように共同で炊事出来たら節約にもなるし無駄も無くなると思うが…」と話されました。

お話を聞きしている最中に近所の方が採れたての旬の野菜を持って来られました。地域の支え合いを感じる瞬間でした。

ある日突然、馴染みのスーパーがなくなったら、あなたはどうしますか？

市内在住80代一人暮らし 男性 Bさんのケース

これまで町内のスーパーの配達サービスを利用しながら生活され

てきたBさん。

そのスーパーが昨年末に廃業されたことにより、途方に暮れられています。

現在、年金暮らしの中、食費を切り詰めたまま生活を送られている状況。

「正月が明けて（売り出しの）チラシが入らず、電話したら、もう辞めたって。急な話でびっくりした。明日からどうしようと思った」と話されるBさん。

チラシが週2回入り、それに合わせ食品などを注文、配達に頼られていたとのことでした。「魚が美味しく、食べやすい大きさに切って持って来てくれたのに…」と当時を振り返られました。



□Bさんの「食」の現状

今では、タクシーを使い、2週間に1回のペースで町内のスーパーやホームセンターに通われ、その費用が余計にかかり厳しい生活を送られているとのこと。費用がかかってもタクシーを使われるのは馴染みのドライバーの方が店内まで入り荷物を運んで頂けることがあるため。切り詰めた生活の中、始めはバスを使ったが、都合のよい路線がなく、結局タクシーに頼ることになったと話される。タクシーでの買い物とたまに来られる行商などで賄われている様子。

□ご近所のお付き合いは…

「お裾分けなどは無いが野菜などを届けていただけの方ががあるので、ありがたい。」と話されていました。

□最近では…

最近では、節約生活とともに食が細くなつて、あまり多くは食べられない。

一人暮らしの男性で以前、大きな病気をされたことがあり、バランスの摂れた食生活が望まれます。民生委員さんや担当のケアマネ

ジャーの支援を受けながら生活をされています。

**人の手を借りなあかん
ようになった今が幸せ**

市内在住80代一人暮らし
女性 Cさんのケース

ご両親の介護の後、そして看取り、ご自身が介護ヘルパーや食事のサービスを利用し、また地域の方々にお世話になりながら在宅生活を送られているCさん。

□Cさんの「食」の現状

「自分が動けないんでヘルパーさんに買い物をお願いし調理してもらってる。どんなものがあるのかからへんのでお任せ。あと行商さんが来られるんで利用する時もある。欲しいもんがあれば家の中まで持ってきてもらえるんで助かるわ。社協の弁当も頼んでいる。」と話されました。

□ご近所のお付き合いは…

配食サービスは今まで週2回取られていたが週1回に変更された。お話を聞けば近隣の方がよく気にかけてくださって、お裾分けがあり、事足りるのでありがたい

と話される。取材中もご近所の方がお裾分けにいられたところでした。昔から地域のつながりが強く助けあって生きて来られたと話されました。

□今が一番幸せ

「これまで自分が親とかに甘えることなんか無かった。それが当たり前やつた。今はいろんな人の世話にならな生きていかれへん。自分も甘えられるんなら、甘えたらええんやと思った時、楽になれた。介護が必要になり、人の親切を感じる今がほんまに幸せやわ」と話される。

Cさんはこの地域で生まれ育った方。介護サービスなどはもちろんのこと住み慣れた地域で近隣の方の支えを受けながら充実した生活を送られていると感じました。



「地域の中で無理なく」 お互いに気兼ねなく

市内在住70代 女性 Dさん

数年前に近隣のスーパーが閉店。移動販売をされていた商店も閉じられた地域で一人暮らしの方など生活の支援をされているDさんへお話を伺いました。

□どのような関わりを持たれていますか。

「お手伝いしている方は90代の女性。比較的、お元気。子どもさんも大阪におられ月1回食料をまとめて買いつけて帰って来られる状況。炊事は自分で出来、少しですが野菜を作られています。私が関わっているのは月3回程度。買い物他に通院などの送迎も行われています。自分の買物のついでに一緒に買って、届ける程度。以前は一緒に買い物に行っていたけど最近は店内を廻るのが大変だと言われ希望されるものを買ってきています。生鮮食品は負担に思わず無理なく関わるくらいなので出来るのかな。他、何軒か、ご飯など多く作った日はお裾分けなどする方がおられます」と話されています。



た。続いて「この地域の方はまだ車に乗られる方があったり、子供さんなどに頼られているようです。近くで移動販売をされていたお店屋さんには閉められたけど月2回程、魚屋さんも来られているようです。ただ好きなものを自由に買ったりすることが少なくなつたようですが…」と話されながらも「これから自分たちも同じ状況になっていくので怖い。今後は、買物を希望される高齢者の身体状況にもよりそつた形の移動販売の方法が望まれます。

これが現実か？

社協の地域支援員の訪問より

現在、75歳以上の一人暮らしの方を対象に担当エリアの地域支援員が訪問し「食」の現状について調査をしています。実際



にお宅を訪問した支援員にその実態をお聞きしました。(主なもの)

● 重度の認知症の方。こんな状況で本当に一人で生活されているのか、と思いました。

● 移動販売がたとえ廻られてもそこまで歩いていけない人がいることを実感しました。

● たとえバスで買い物されても、荷物を持って歩かれるその後の様子を想像しました。

● 自分自身年老いた時に、この地域で住み続けることが本当に出来るのだろうか。

● 訪問したお宅の他にもお困りのケースでもっと多いように思う。同じような環境で生活されているのだから当然だと思った。

「一方では…」

● たとえ介護が必要になられた状態でも介護サービスや地域の方のお世話を受けながら上手に生活をされている様子が窺えた。

● 買い物はこの人。こんなことはこの人というように地域の方々に本当に上手にお世話になられている方がおられ、たくましく感じた。

● 離れて暮らされている子どもさんがよくお世話されているお宅

が多かった。

● 自身が一人暮らしであると自覚され食事面はもちろんのこと生活面全般にきっちりとされている方が多くびっくりしました。

● 自分が年を取って一人で生活すると、こんなに規則正しい生活が出来るとは思いません。

● 同じ年代層の方で同じ地域にお住まいでも生活形態によって購入されるものが全然違うことを感じました。

● 最近、移動販売が来られるようになり「商品が自分の手で取り買えることが出来た。何年振りやろ」と仰つたことに感動した。

● 調査だけでは本当の実態が分からないと思った。もしもご本人の了解が得られ冷蔵庫等を拝見できれば、より詳しい実態を知ることが出来るのではと思いました。

● 現在、要支援2でデイを利用されているが介護保険制度が改正するとこの人はどうなるんやろ？

「こんなケースも…」

● 男性の一人暮らし。自身の健康状態を把握しカロリー計算しレシピを考え調理されている。食べたものを毎食ノートにつけておられ感心しました。

地域の現状を知る

和田山地域を一例に焦点をあててみました。

ここでは、市内でも比較的、買い物が便利であると思われる地域(和田山)に焦点をあて、実際の「食」事情について探ってみました。

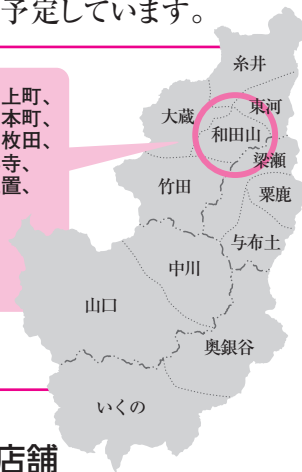
なお、他地域の「食」に関する情報については今後、ホームページ上で掲載を予定しています。

■和田山地域の概要

- 大型商業施設、コンビニ、ドラッグストア、飲食店などが立ち並び、小学校、中学校、高等学校もある。
- 国道9号、312号が通っていて、和田山駅もあり、交通の便も良い。
- アパートやマンションが多い。
- 高齢化率が10%未満の区もあれば、30%を超えている区もある。

和田山駅前、和田山上町、和田山京口、和田山本町、和田山新町、駅北、枚田、市御堂、比治、法興寺、立ノ原、枚田岡、玉置、桑原、柳原

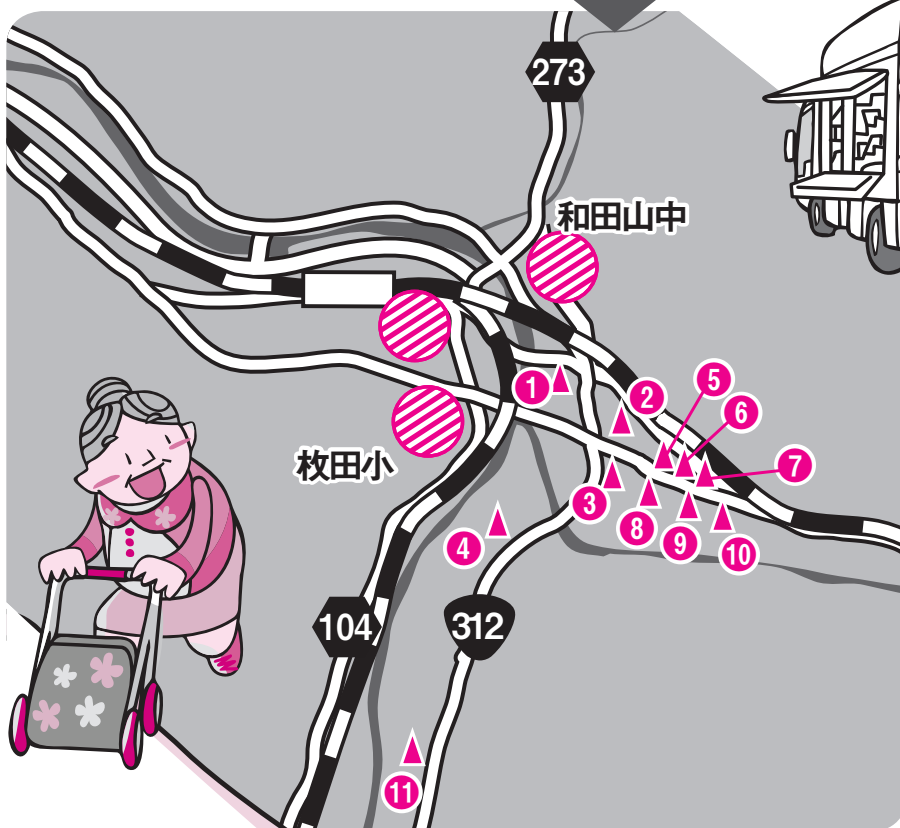
人口：4,633人
高齢化率：27.11%
(H28.5月末現在)



■和田山地区行商が来られるエリア



■和田山地区のスーパーや店舗



- ① スーパー
- ② 薬局
- ③ ホームセンター
- ④ スーパー
- ⑤ スーパー
- ⑥ 薬局
- ⑦ コンビニエンスストア
- ⑧ 大型スーパー
- ⑨ 生活雑貨店
- ⑩ コンビニエンスストア
- ⑪ コンビニエンスストア

👉 この地域にお住まいの方に聞いてみると…(次ページ)

本当に移動販売や

スーパーや店舗があると

地域で安心して暮らせる？

社協のお弁当があつて本当にありがたい

市内在住80代一人暮らし
女性 Eさんのケース

「昔は近所に食料店があつて、そこのお店で買い物が出来た。ちよつと歩けばスーパーなどあるがそこまで行つて買い物が出来ない。社協のお弁当が本当にありがたい」と話されるEさん。

□Eさんが語られた「食」の現状

買い物には行けないので週4日、社協の配食サービスを利用したり、コープの「こはい」を利用。

「これまでは車で1時間ばかりかけ妹が定期的に寄つて食料を買ってきてたり買い物をしてもらつてたが、妹も70代。自分の生活も精一杯。

なかなか無理も言えない…。



社協の配食弁当

私のお世話までは。(義理の)娘がいて、帰つて来る時に食料品を届けてもらつたりしていたが…。最近ではなかなか帰つてこない」と話される。寂しそうに話される表情がとても印象的でした。少し足を伸ばせばスーパーなどがある地域。これはEさんだけの問題ではなく、「その場所まで行けない」という方がかなりあるという現実。

□ご近所のおつき合いは…

近隣に友人がおられたが、今はほとんどおられない。これまでのインタビューにあつたように「近

隣からお裾分けや採れた野菜を…」というような状況ではないようである。地元老人会に所属される月1回の「お大師講」を唯一楽しみだとしみじみと話される。

今、社協では「赤い羽根の共同募金」の配分金を財源として、今まさに地域課題のひとつである「食の確保」について調査研究を進めています。市民の皆様も様々な方々のコメントから何となく気付かれたのではないかと思います。が、わかつたことはひとつのサービスマチ点があるからといって、決してその地域全体を網羅出来るものではない事をお店や移動販売などは地域の「点」であり「面」にはなり難いということ。

地域の交通の便や立地等ではなく、その方の周囲の見守りや助け合い、その方の身体状況等により変わってくる。「ある日、車に乗れないようになった…。介護が必要になった…」明日起こりうるかもしれない。明日は我が身です。

「点」の活動から「面」へ。

●今は関係なさそうな事かもしれませんが、地域谁也が、意識する、考える。

●今あるものの延長線上であつたり、無かつたら作るなど「点」が地域になれば「面」の活動につながる。

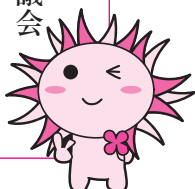
社協では引き続き「食の確保」を地域課題の一つとして今後も研究協議を進めていく予定です。市民の皆様、今回のテーマ「食の確保」に対するご意見をぜひお聞かせください。メール・手紙・電話などどんな方法でもかまいませんのであなたのご意見をお待ちしております！

「問い合わせ先」

朝来市社会福祉協議会
担当/地域統括課

(買い物・食料支援・基盤整備担当まで)
☎ 676-15215

✉ asago-sishakyo@sasayuri-net.jp



恋のきっかけをつかみたい独身男女に

あさご交流Café オープン

ドキドキの
新しい出会いが
見つかるかも...

日時	平成28年8月21日(日) 午前10:00~12:30
場所	Tea&Sweets T's Room(和田山町栄町)
募集	男性8名、女性8名(20歳以上40歳未満)
参加費	男性2,200円 女性1,800円
募集期間	平成28年8月12日(金)まで

- 主催/あさご交流Café
- お問い合わせ/朝来市社会福祉協議会(担当 上田)
TEL.079-676-5213

社会福祉協議会は朝来市の応援のもと『あさご交流Café』で独身男女に出会いの場を提案していきます。
今年度4回計画していますが、その都度広報、ポスターなどでお知らせします。

学
び
ま
せ
ん
か
!

「福
祉
の
こ
こ
ろ
」
を

「介
護
の
技
術
」
と

ス
タ
ー
ト
ラ
イ
ン

あ
な
た
の



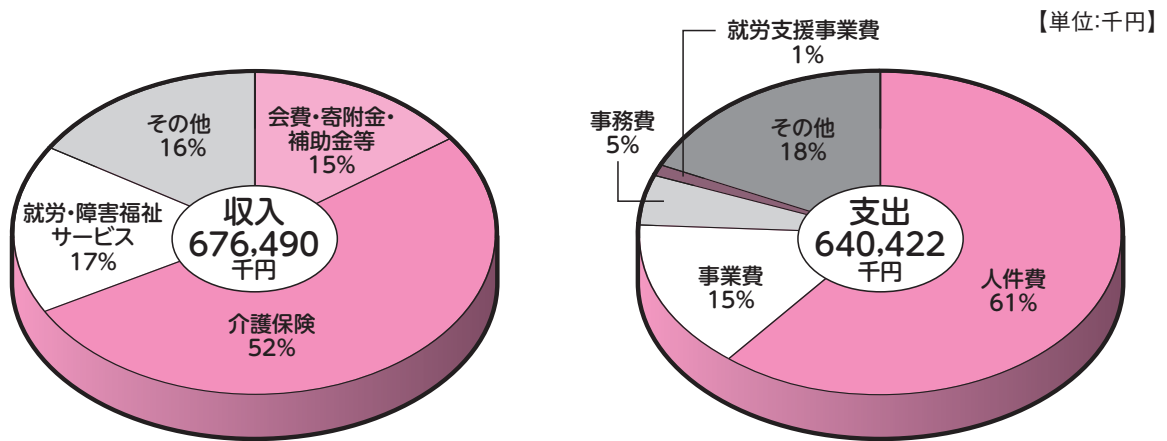
平成28年度 介護員養成研修
(介護職員初任者研修・通学)

9月開講予定

●問い合わせ先/総合支援課 TEL.676-5213

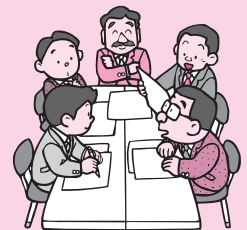
受講料
返還制度
新設

平成27年度の資金収支決算(法人全体)



今年度の法人決算は、前年の当期資金収支差額△1,199万円から3,606万円となり、約4,800万円改善となる決算となりました。

収入面では、介護保険事業では前年比較3,500万円、障害福祉サービス部門では373万円の増収となり、法人合計2,811万円の増収となりました。支出面では、前年比較2,772万円コスト減となりました。固定資産面では、システムサーバー更新、ネットワークセキュリティ対策、車両整備等で707万円の資金を充当しました。



夏…新たな出会い サマーボランティア 体験教室

夏休み期間に、普段出来ないボランティア体験をしてみませんか。参加を希望される方は最寄りの地域センターへお申込みください。

- **障がい者(児)施設での体験・交流教室**
施設ご利用者の皆さんと、作業体験や交流をしませんか。
- **買い物介助ボランティア体験教室**
障がい者施設のご利用者の買物のお手伝いを行います。
- **離乳食教室子守りボランティア体験教室**
朝来市保健センターで行われる、離乳食教室開催時に、かわいい赤ちゃんの子守りボランティアをお願いします。
- **エコキャップ・プルタブ回収実践教室**
ペットボトルキャップとアルミ缶プルタブを集めて届けてください。換金されて、車いすやワクチンなどの購入費用として、役立てられます。



問合せ先／総合支援課 079-676-5213

地域ぐるみで育む！

トライやる ウィーク

6/6～10

生野中学校2年生の女子生徒2名と男子生徒3名が社協を通じて生野地域内の各所で活動されました。

配食サービスの配達、一人暮らし高齢者の誕生月訪問や、「小規模多機能施設ひなたぼっこ」や「あさごふれ愛の郷かがやき」、「子育て学習センター」そして「新町ミニデイ」での活動、体験などでこの間、多くの方々にお世話になりました。一週間お疲れ様でした。

生野地域編



小規模多機能施設ひなたぼっこ



配食サービス配達

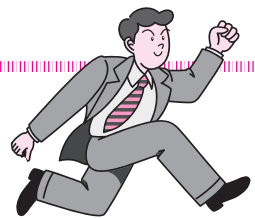
この一週間で体験したことは、どれも初めての事ばかりだったけど、福祉ボランティアの仕事の大切さがとてもよく分かりました。これからは、トライやるウィークで身につけたことを忘れずに、社会にでた時にいかせるようにしたいです。

本当に、この一週間、ありがとうございました。

(生徒の感想より)

法人内ではこの他「デイサービスセンターかしのき園」「小規模多機能施設おくらべ」「小規模多機能施設宅老所えんや」「あさごふれ愛の郷あおぞら」でそれぞれ市内の中学生8名が活動されました。

さあ、地域へ飛び出そう!



栃原区

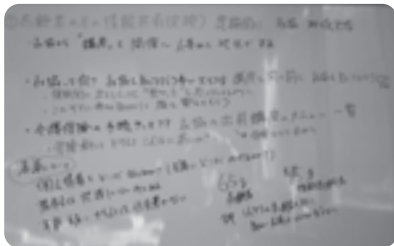
昨年度、栃原区役員さんと検討の「28年度の身近な福祉の取組み」の一つとして、5/11に地域ミニデイの開催時に、福祉や介護の勉強会を開催されました。本会の介護職員等が講師となり介護保険の具体的な手続き、介護用品等の説明や簡単なストレッチ体操などが行われました。

- 介護を受けるときの相談窓口はどこなのか
- 介護保険法が法改正になったら、要支援の方はどうなるのか
- 万が一、寝たきりになった時の費用はどれくらいかかるのか

などを相談されていました。

お元気な方でも、近い将来、車の運転ができなくなったら、と不安を持っておられる方も多くおられました。

相談を受けた内容についても区役員さんとの情報交換をしていきます。



身近な福祉の取組みの「計画づくり」

枚田小学校区

赤や黄色のマーカーから見えてきたこと

5月31日(火)に枚田小学校区民生委員児童委員協議会の会議に参加させていただき、『地域ささえあいマップ(福祉マップ)』づくりの説明を行いました。『地域ささえあいマップ』とは、地域に住んでおられる誰もが知っておられる情報(お一人暮らしの方や地域内の交友関係など)を住宅地図に書き込むことによって、人と人とのつながりや地域の中での支えあい(声かけなど)の状況などを視ることができ、現在または5年後、10年後の地域の中で「気になる」ことや見えてくる課題を把握したり、解決に向けて一緒に考えることができる手法です。

枚田小学校区の福祉活動をより進めるために、まず、各地域内のさまざまな情報を把握しようとお考えで、今回の『地域ささえあいマップ』となりました。

『地域ささえあいマップ』についてご希望があれば、よろこんで職員がお伺いします。



あなたにとって必要でなくても 市内には必要とする方もおられるのです



市内には様々な理由でその日の食べ物にも事欠くなど一時的に生活にお困りの方がいらっしゃいます。本会ではそのような方に『善意銀行』で市民の皆様からお寄せいただいた食材などを無償で提供するなどでサポートをしています。

市民の皆様のご自宅に眠っている「捨てるのはもったいない食糧(品物)」をご寄付いただく事で、処分するはずだった食糧(品物)を『命をつなぐ糧』として活用いたします。是非、ご寄附にご協力下さい。

市民の皆様にご協力いただきたい食糧(品物)

- ◆ お 米 / 平成27年産の玄米をお願いします
- ◆ 食 品 / インスタントみそ汁(スープ)・缶詰・海苔・乾麺(素麺・うどん・そば・パスタ)・パスタの具・レトルト食品(レトルトカレー・その他)・インスタントラーメン(カップ麺)・ふりかけ等
- ◆ 調味料 / 砂糖・塩(味塩・塩コショウ)・しょうゆ・麺つゆ・ソース
- ◆ 物 品 / トイレットペーパー・ティッシュペーパー・カセットコンロ・カセットコンロ用ガスボンベ等



実際に生活にお困りの方にお届けした支援食糧

食品は保管の都合上、賞味期限が十分残っているもので冷蔵庫での管理が不要なものをお願いいたします。既に開封されているなど状態によってはお断りする場合がございますが、予めご了承下さい。

問合せ先 / 総合支援課 079-676-5213

善意銀行だより

平成28年4月1日～平成28年5月31日

生野

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・四区 長野 守雄 (亡妻)
 - ・四区 桑田 祥夫 (亡妻)
 - ・小野 西村 貞夫 (亡母)
 - ・北真弓 入江 則正 (亡父)
 - ・栃原 松本 忍 (亡母)
- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・ASAGOダンスフレンズ
- 物品預託
 - ・一区 信沢 元治 (介護用品)
 - ・朝来市老人クラブ連合会
生野支部女性部 (食料品)

和田山

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・平野 神谷 繁秋 (亡父)
 - ・芳賀野 後藤ひろ子 (亡母)

- ・枚田 生田 圭祐 (亡母)
- ・久田和 畠山 義紀 (亡父)
- ・竹田下町 千葉 薫 (亡母)
- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・土田 竹森鐵工株式会社
 - ・白井 白井大町藤公園管理組合
(車椅子借用礼)
 - ・匿名1件(車椅子借用礼)

山東

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・新堂 白垣 ちよ (亡夫)
 - ・和賀 太田 義久 (亡義母)
- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・山東町仏教会(備品借用礼)
 - ・田中区
(収穫祭チャリティーバザー売上金)
 - ・山東民生委員児童委員協議会(2件)

朝来

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・桑市 谷口 寛 (亡母)
 - ・澤 丸尾 陽一 (亡祖母)
 - ・山内 黒田 博司 (亡父)
 - ・新井1区 椿野 浩志 (亡父)
 - ・新井2区 中島 要 (亡妻)
 - ・新井3区 片山 公貴 (亡母)
 - ・口田路 森本 義昭 (亡母)
 - ・中田路 紙谷 秋夫 (亡父)
- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・山口学童クラブOB
 - ・木村医院職員一同(2件)

市外

- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・職員親睦会
 - ・匿名5件

(敬称略・順不同) ※名前、預託内容、金額等については、申込者に承諾をいただいて掲載しています。

日本郵便株式会社さん ありがとうございました!!



年賀寄付金による社会貢献事業の助成をいただき気持ちの良い最新の特設浴槽になりました。ご利用者も大変喜んでおられます。

担当した職員より

お風呂(特浴槽)が新しくなりました。ご利用者の方も本当に気持ちよさそうなお様子でした。介助もしやすくなり、今まで以上にスムーズで気持ち良い入浴をして頂けると思います。浴槽に負けず私たち職員も新鮮な気持ちで介助させていただきます。

住宅の小修繕を ボランティアで。

今年も生野町建築組合様が、ボランティアで、住宅の小修繕(屋根・雨とい・室内等の小修繕)を実施されます。ご希望の方は、まずご連絡ください。



- 実施日
平成28年8月27日(土) 8時～
- 費用
修理費は無料、材料費は個人負担です。
- 対象者
生野町在住、75歳以上の高齢者のみの世帯
- 申込先
7月29日(金)までに、朝来市社会福祉協議会 生野地域センター(電話679-3053)へご連絡下さい。